

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 NPO法人箕面こどもの森学園

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（小中一貫教育）

所在地 〒 562 - 0032
大阪府箕面市小野原西 6-15-31

E-mail info@kodomonono-mori.com

Website _____

児童生徒数 男子 21 名 女子 23 名 合計 44 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（市民性）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

【テーマ学習】

本学園ではテーマ学習という学習科目があります。これは学校全体の共通テーマについて、学期ごとに「環境」、「人権」、「平和」、「市民性学習」などの分野を全校生徒で学ぶ探究型の学習プロジェクトです。2016年度の取り組みを紹介します。

<1学期>

■テーマ名 : 100年生きる庭づくり

■学習分野 : 環境学習

■活動目的 : 子どもが主体となり、自然を身近に感じられる庭づくりをすることによって、自然の豊かさや自然と人との関わりを体験的に学ぶ

■活動内容（全体）:

- オリエンテーションにて「どんな校庭にしたい?」「持続可能な校庭ってどのようなもの?」などについてアイデアを出し合い、ビジョンを共有
- アイデアを分類し、希望するグループに分かれ活動を開始
グループ: 生き物、ガーデニング、土・食・暮らし、水辺、遊び、個人テーマ
- 庭づくりの計画立て、全体会議で今年度の計画共有、夏の水やりなど分担
- ゲスト講師の方よりお話を聞く（生き物・環境について）
- 調べたことのまとめ・発表

■活動内容（グループごと）:

【生き物】動物の生態と飼い方調べ、五月山動物園見学と飼育員の方にインタビュー、鳥のえさ台づくり

【虫】箕面昆虫館見学とインタビュー、校庭の虫調べ、人工樹液作り、コンポスト修理

【ガーデニング】万博記念公園・園芸店の見学、エコガーデン作り、花の苗の植え付け

【水辺】能勢の水辺で生き物の観察、ビオトープ・食物連鎖について学習、校庭の池調査、微生物の観察

【あそび】木工材料買い出し、あそび道具箱・巣箱・ハンモック製作、ロープの結び方

【土・食・暮らし】新稲の畑見学、畑づくり、野菜の苗の植え付け、畑の水やり、虫よけスプレー作り、観察・記録

【個人テーマ】虫の役割調べ、ハーブ調べ・活用、校庭の水はけ改善など

■活動を通して

子どもたちが主体となり校庭作りをデザインすることにより、グループ作り・活動の幅も多様さが見受けられました。グループメンバーと協力しながら、自ら企画し実行する校庭づくりは子どもたちにとっても校庭の変化と自然との関わりを実感する期間となった様子です。また1学期の重点テーマとしての活動でしたが、2・3学期と継続して活動を行い、一年を通して校庭の環境を考え行動する機会となりました。

■活動の様子



< 2 学期 >

■テーマ名 : (小学部) ちがって何? ~だれもが安心して暮らせる世界へ~
(中学部) 差別 ~誰もが安心して暮らせる世界へ~

■学習分野 : 人権学習

■活動目的 :

- (低学年) 学校・クラス内でお互いを理解し、大切にすゝ尊重しあえる
- (高学年) 日常の生活の中にある「差別する」「差別された」心を見つめ考える
- (中学部) 社会の中にある差別を考える

■活動内容 :

- (全体) オリエンテーション、大阪人権博物館「リバティおおさか」見学・振り返り調べたことのみとめ・研究発表会の実施
- (小学部) ホームレス支援団体「ホームドア」の方に来ていただきお話を聞く、在日コリアン・身体に障がいを持つ方と出会いお話を聞く、箕面市人権センター見学、個人・グループごとの研究 (いじめ・ホームレス・人種差別・国の違いなど)
- (中学部) 社会の中の様々な立場の方を知り考える活動 (ハンセン病・LGBT・ホームレス・在日外国人)、コリア NGO センター訪問・コリアタウン見学、個人テーマの研究

■活動を通して

人は誰しも違いをもって生きている。2学期はその違いを知った上で「なぜ差別は起こるのだろう?」「誰もが安心して暮らせるには、どうしたらいいのだろう?」という問いについて考えました。社会でおこりえる差別について知りさまざまな立場の当事者の方に出会うことで、初めて知ったこと・それぞれに感じるものが多く生まれた様子でした。

また学習を通して、「差別は知らないから生まれる。まずは現状を知ること。」「誰かが何とかしてくれると期待するのではなく、自分が変わること。たとえ最初は一人でも共感して応援してくれる人が集まる。」「偏見に流されない、関わりを持つ、過去を忘れない。」など、一人ひとりの視点で調べ考えた意見が子どもたちより出ました。

■活動の様子



<3学期>

■テーマ名 : メディアリテラシー

■学習分野 : 市民性学習

■活動目的 :

(小学部) メディアについて知る・情報を読み解く力をつける・多角的な視点から考える
(中学部) 『メディアとは何か』を自分の言葉で説明できる・自分がどのように使っているか関わっているかに気付く・自分の意図と、受け手側の影響を知ったうえで発信できる

■活動内容：

(全体) オリエンテーション、

ゲスト講師の方よりお話を聞く (元カメラマン・CMプランナーの方)

調べたことのまとめ・研究発表会の実施

(小学部) グループ活動

【テレビ】情報番組・CM作り

【新聞】壁新聞・見開き新聞作り

【ラジオ】ラジオ視聴・ラジオ制作

【映像】箕面市のおすすめの場所・劇団ウエスト取材・動画編集

【個人テーマ】情報集め・電話でのインタビュー

【ニュースレター】掲載内容の検討、保護者へのアンケート作り

(中学部) メディアツアー (メディア探し)、メディア作り、個人テーマの研究

■活動を通して

小学部では実際にテレビ・ラジオ・新聞などメディアを制作することにより、メディアについて体験的に学習する取り組みを行いました。また中学部では自分の生活との関わりやメディアが社会に及ぼす影響について考えました。これらの活動を通して、身近にあるメディアの特徴や関わり、メディアはどのように作られているのか、そして情報を自分自身でどのように選択していくのかなど、子どもたちの視点から考える機会となりました。

■活動の様子



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）